

図書館だより 2月号



寒い日は、暖かい部屋で本を楽しみましょう。

平成30年2月
大洲農業高校図書委員会

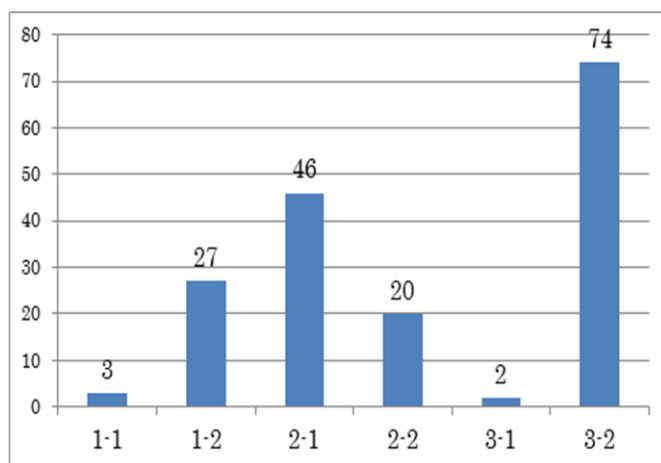
図書館からの大切なお願い

年度末になります。図書館の本を借りっぱなしの人は、きちんと返却しましょう！

1月の図書の貸し出し 合計 172冊

4月～1月までの図書の貸し出し
合計2,096冊
1人平均9.6冊
目指せ！年間1人平均10冊！！

クラス別貸し出し



本の言葉

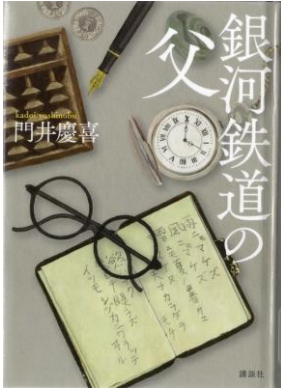
プレッシャーを感じながらも、もがいて、目の前の壁を何とか乗り越えようと準備する。その過程で、自分の成長を実感できる。

それが、本当の「おもしろさ」ではないでしょうか。単に「楽しい」だけでは、こういう感情は味わえないと思います。

横山裕(関ジャニ∞)

本の紹介

『銀河鉄道の父』 門井慶喜（講談社）



「宮沢賢治」と聞いて、皆さんが頭に思い浮かべる作品は？
2年生の皆さんは、国語総合の授業で学んでいる『よだかの星』を思い浮かべましたか？『銀河鉄道の夜』『注文の多い料理店』『風の又三郎』『セロ弾きのゴーシュ』『雨ニモマケズ 風ニモマケズ……』など、たくさんの作品がありますね。

この『銀河鉄道の父』は、宮沢賢治について、賢治の父の視点から描かれた小説です。数多くの名作を生み出した宮沢賢治。理想を求め、創作に情熱を注ぐ賢治の姿と、賢治を思う父の姿が印象的です。

29年下半期の直木賞受賞作品です！

『漫画 君たちはどう生きるか』 原作 吉野源三郎 漫画 羽賀翔一



(マガジンハウス)

「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている。
だから誤りを犯すこともある。
しかし僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている。
だから誤りから立ち直ることもできるのだ。」

今、話題の1冊です。

1937年に出版された小説『君たちはどう生きるか』をマンガ化したこの作品。80年たった今も、様々な年代の人が、自分の生き方を考えるための言葉を、この作品から見つけています。自分らしく、強く生きていこうと、前を向ける1冊です。

『今日すべきことを精一杯！』 日野原重明（ポプラ社）



2017年7月、105歳で亡くなった医師日野原重明さんの著書です。医師として多くの患者と交流し、その最期を見届けてきた日野原さん。身体的に健康であるというだけでなく、人生が充実しているとはどういうことか、考えさせられます。

「将来のことをいわずに思い煩わず、今日すべきことを精一杯やりなさい。」

「いつか死ぬということを忘れず、今日を徹底的に生きることです。」
生きることに誠実に向き合ってきた言葉は、若い皆さんの心にもきっと響きます。

